

**問題No.1**

市場（マーケット）と施設計画に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 内部の賑わいを外に引き出して見せることは、顧客の期待感を弱め集客力アップには逆効果となる。
2. 街の魅力を連続的に繋げることは、街の中で商業が担う重要な役割である。
3. 商業施設は、不特定多数の人が多く集まる極めて社会性の高い施設である。
4. 土地固有の環境を感じさせるような施設計画は、集客力向上に大きく貢献する。

**【解説】**

商品や人だかりを外に見せることが購買動機を誘因し集客に貢献する。  
「商業施設・創造とデザイン」 V. 機能計画から施設計画へ P.210～211参照

答 1

**問題No.2**

大規模小売店舗に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 大規模小売店舗立地法が対象とする大型店は、500㎡を超えるものである。
2. 大規模店舗には、専門大店、百貨店、複合型商業施設、GMS（ジェネラル・マーチャンダイズストア）などがある。
3. もともと百貨店は100の商品ラインが揃っていることから名付けられたが、最近の地方では40程度のラインまで絞って展開する店舗も多い。
4. 日本型SPA（製造直販小売店）とは、製造販売店で生活者のニーズに対応した新業態型店舗である。

**【解説】**

対象は1,000㎡を超えるものである。

答 1

**問題No.3**

商業建築の歴史に関する次の組み合わせのうち、最も不適当なものはどれか。

1. 銀座煉瓦街 …………… 明治初期の日本を代表する商店街
2. ボン・マルシェ …………… 世界最初の博物館
3. 呉服店越後屋 …………… 我が国最初の百貨店に発展
4. 水晶宮（クリスタルパレス） …… 世界初の万国博覧会場

**【解説】**

ボン・マルシェは世界最初の百貨店  
「商業施設・創造とデザイン」 VI. 建築計画1-(2) 商業建築の歴史 P.239～241参照

答 2

---

**問題No.4**

換気や通風に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 自然換気は、風によるもののほか、室内外の温度差によっても行われる。
2. 気密性の高い室内では、換気設備による適切な換気が必要である。
3. 通風の効果を上げるためには、夏期の最多風向に合わせた方位に給気のための窓を設ける。
4. 換気設備が設置されている場合には、できる限り通風がなされない設計とすることが望ましい。

**【解説】**

「商業施設・創造とデザイン」 VI. 建築計画 2. 建築計画 2-(1) 建築と環境 P.244、P.250参照

答 4

---

**問題No.5**

建築計画に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 多人数を収容する集会室の扉を、外開きとして計画した。
2. レストランの客室面積を、1人あたり1.5㎡として計画した。
3. ビジネスホテルのシングルルームを、1室あたり15㎡として計画した。
4. 片廊下型の集合住宅で、2つの階段を集約して1ヶ所にまとめて計画した。

**【解説】**

4. 2方向避難の原則から、できるだけ離して配置すること。

答 4

---

**問題No.6**

建築基準法上、原則として近隣商業地域内に建築できないものは次の記述のうちどれか。

1. 映画館の客席面積が延べ500㎡
2. ボーリング場の競技場面積が延べ500㎡
3. スーパーマーケットの売場面積が延べ500㎡
4. 旅館の客室面積が延べ500㎡

**【解説】**

近隣商業地域内の映画館の規模は、客席延200㎡まで。

**問題No.7**

建築構造に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. RC構造にはラーメン式構造、フラットスラブ式構造、壁式構造などがある。
2. S造は、単位床面積当たりの重量がRC造よりも重い。
3. SRC造は、同規模、同階数のRC造よりも靱性があり、7階以上及び大スパンの建築に適する。
4. RCB造は、ブロック接合部分を鉄筋コンクリートによって補強された耐力壁によって構成される建築物である。

**【解説】**

2. RC造よりも軽い

「商業施設・創造とデザイン」 VI. 建築計画2-(4) 建築構造 P.275～281参照

**問題No.8**

排水設備に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. Pトラップは、封水が切れにくいので、最も多く使用される。
2. 排水トラップは、排水管や下水管からの臭気等の流入を防止するために設ける。
3. 通気管は、トラップの封水が失われるのを防止するものである。
4. グリーストラップは、トラップの機能のほか、細菌を除く目的を持っている。

**【解説】**

「商業施設・創造とデザイン」 VI. 建築計画2-(5) 建築設備 P.289参照

**問題No.9**

音の性質に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 音響出力とは、音源から発する音のエネルギーをいう。
2. 壁は重い材料で厚くすると、一般に、外からの騒音防止に効果がある。
3. 残響時間とは、音源が停止してから室内の音の強さのレベルが30dB低下するまでの時間をいう。
4. 同じ質量の壁体であれば、中高音域では単層より中空層を設け複層で構成する方が透過損失が大きくなる。

**【解説】**

「商業施設・創造とデザイン」 VI. 建築計画 5. 音響計画 P.309～310参照

答 3

---

**問題No.10**

VMDに関する次の記述のうち、最も適当なものはどれか。

1. VMDとは、触覚的効果をねらったマーチャンダイジングである。
2. VMDとは、聴覚的効果をねらったマーチャンダイジングである。
3. VMDとは、味覚的効果をねらったマーチャンダイジングである。
4. VMDとは、視覚的効果をねらったマーチャンダイジングである。

**【解説】**

「商業施設・創造とデザイン」 VI. 建築計画 6. VMD P.312参照

答 4

---

**問題No.11**

サイン計画に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. サインは、近距離用から遠距離用まで可読距離別に配慮して計画すべきである。
2. サインは、建築物ではないためその設置には法的制限がかからない。
3. サインの分類によく用いられるのは、用途別、配置別、対象別、機能別の4分類である。
4. サインは、建物外観意匠の設計時に併せて組み合わせを考えるべきである。

**【解説】**

サインに関しては、屋外広告物法、屋外広告物条例による様々な規制が定められている  
「商業施設・創造とデザイン」 VI. 建築計画 P.314～320参照

答 2

---

**問題No.12**

設計に当たったの留意事項の次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 施設の安全性として構造耐力、防火耐火、避難、換気設備などがある。
2. 耐震設計法は、大地震発生のとど見直され、新たな改正と規準の策定が行われてきた。
3. ISO (世界標準) でのPDCAサイクルとは、P (計画)、D (実行)、C (点検)、A (自動) である。
4. ISO9000シリーズとは品質システムであり、ISO14000シリーズとは環境マネジメントである。

**【解説】**

AはACTIONであり業務方法の是正である。

「商業施設・創造とデザイン」 VI. 建築計画9-(4) 世界標準／ISOに適合する設計 P.327参照

答 3

---

**問題No.13**

次のエネルギー資源のうち、枯渇性エネルギーとして最も不適当なものはどれか。

1. 石炭
2. 石油
3. 核燃料
4. 地熱

**【解説】**

「商業施設・創造とデザイン」 VI. 建築計画 9-(5) 省エネルギー設計 P.328参照

答 4

---

**問題No.14**

健康のための設計に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. シックハウス対策として、建材には低ホルムアルデヒドの材料を用いる。
2. シックハウスは、住宅だけが問題であり、オフィスビルや学校などでは問題ない。
3. 設計にあっては、通風、換気に十分配慮する。
4. 設計にあっては、感覚的、精神的な影響までも考慮する必要がある。

**【解説】**

「商業施設・創造とデザイン」 VI. 建築計画 9-(9) 健康のための設計、(10) シックハウス P.333～334参照

答 2

---

**問題No.15**

施設計画の専門語句に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. フローチャートの最も重要な効果とは、様々な役割を時間軸で相互に確認できることである。
2. SMDとは、商品の価格帯、対象客、テナントごとの商品構成などを効率よく配列することである。
3. POSシステムとは、仕入れ時点での情報管理システムのことである。
4. LCAとは、建築物の全生涯を通じての評価・査定する方法をいう。

**【解説】**

販売時点での情報管理システムを言う。

答 3